



9月24日 練習試合 vs 多摩科学技術高校
vs 八王子拓真 マネージャーレポート

多摩科学技術高校は、パッシングを中心に試合を組み立てている印象でした。コート内のプレイヤーの声出し、コミュニケーションがとても多く、見習うべき点だと思いました。

八王子拓真高校は、インサイドにボールが入った瞬間の全体の寄りが早いのが印象的でした。パス回し中心のプレーというよりも、ドライブ中心のプレーが目立ちました。

本校は、ディフェンスのプレッシャーが全体的に弱いという反省があがりました。引いて守っていることが多かったです。ボールラインより高めにディフェンスすることを意識し、特に1線は距離を詰めてショットを打たせないことを意識していくべきだと思いました。24秒の中でいかにプレッシャーを与えられるかを常に考えながらディフェンスをする必要があると思います。また、ファウルが多かったので、改善すべき点となりました。ファウルのせいでプレータイムが制限されてしまう可能性があるため、どのように接触を図るかなどファウルの基準を改めて確認し、減らしていけると良いと思います。また、ゴール下のシュートを外している場面が多く見られました。これも普段の練習から意識し、改善していくべき点だと思いました。

ですが、今まで課題となっていた速攻について、改善することが出来ました。前回までだったらドリブルで突破していた場面でも、今回はパスで縦に繋ぐことができ、シールをしてシュートを決めるというスムーズかつまとまりのあるプレーをする事が出来ました。また、キックアウトからスリーポイントを決める場面もありました。

ディフェンスでは改善点が多くあげられましたが、オフェンスは練習試合を重ねる毎に改善されているので、改善すべき点は改善し、更に高みを目指していきたいです。